

解体処理施設での枝肉拭取りの作業手順書

1. 準備するもの

1-1 検体採取時に各自ご用意いただくもの

- a. 拭取り作業に使用するもの：手袋（ゴム・ビニール等合成樹脂製）、アルコール噴霧器（アルコール綿）
- b. 検体発送に使用するもの：保冷材・保冷袋

1-2 日本大学生物資源科学部から「要望に応じて」提供するもの

- a. 拭取り枠（10 cm x 10 cm）
(<https://axel.as-1.co.jp/asone/d/2-7477-01/>)
- b. 拭取り検査キット（GSI クレオス製「BM フキトレール A」）：検査開始前に、容器に拭取り箇所を示す検体番号を記入する（検体番号は別添の「枝肉拭き取り検査記録票」を参照）。

2. 拭き取りのタイミング

- ① 枝肉洗浄前
- ② 枝肉洗浄後（冷蔵保存前）

3. 枝肉の拭取り箇所

- 図1に示した2箇所（胸部と肛門周囲部）とする。
- ただし、検体毎に、胸部/肛門周囲部で左右別となるようにする。（別添「枝肉拭き取り検査記録票」を参照）

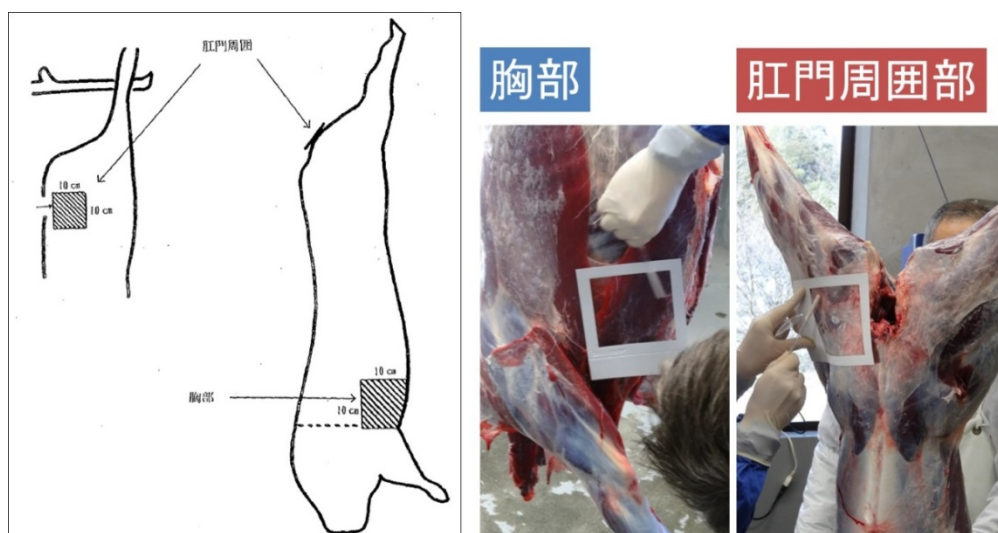


図1. 拭取り箇所模式図

4. 拭取り検体の採取方法

4-1 手洗い後の両手に手袋を装着し、さらに手全体をアルコール消毒する。

4-2 拭取り棒をあて、拭取り検査キットを用いて、拭取りを行う。

4-3 拭取り検査キットの綿棒が枝肉と平行になるように当てて拭き取る。拭き取る方向は、縦横斜め（計4方向）とする（図2. 参照）。

4-4 拭取りの回数は各方向につき10回とする。

拭取りキット

株式会社 GSI クレオスの「BM フキトレール A」

http://sid.gsi.co.jp/info/brochures/bm_fuki_bro.pdf

400 本入り， #10FK0100

100 本入り， #10FK0101

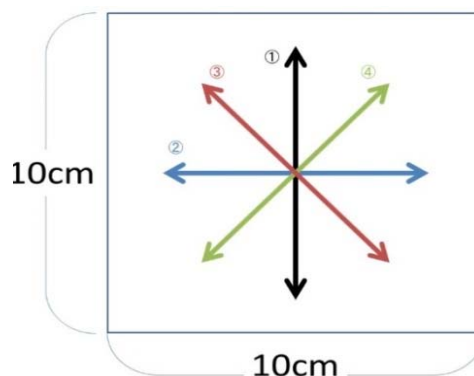


図2. 拭き取り方向

5. 枝肉検査記録票への記入

5-1 別添の「枝肉拭取り検査記録票」に必要事項を記入する。（枝肉個体毎に1枚）

6. 発送

6-1 保冷袋に保冷剤と拭取り検体を入れる。

6-2 「枝肉拭取り検査記録票」（枝肉個体毎に1枚）を同封する。

6-3 宅配伝票の品名記入欄には「ジビエサンプル」と記載する。

7. 検体の着日に関する留意点

検体採取の翌日（地域によっては翌々日）に検査機関（下記8：神奈川県藤沢市）へ到着・同日試験開始となるよう、下記の要領で着日の日程調整願います。

・検査機関において検体受領が可能な曜日：月～土曜日

・事前連絡のお願い：発送前に発送先検査機関に、下の8で示したいずれかの方法で、検体発送をご一報ください。

8. 発送先検査機関（問い合わせ先）

住所：〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

宛名：日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医食品衛生学研究室 壁谷英則

電話/Fax：0466-84-3377

E-mail：kabeya.hidenori@nihon-u.ac.jp